

2019年3月11日
日本生命保険相互会社

SDGs 社債ファンドへの投資について

日本生命保険相互会社（社長：清水博、以下「当社」）は、ニッセイアセットマネジメント株式会社（社長：西啓介、以下「ニッセイアセット」）が運用する SDGs 社債ファンド（以下「当ファンド」）に 100 億円投資しました。なお、本件は社債を投資対象とする SDGs ファンドへの、当社初の投資です。

SDGs は、2015 年 9 月の国連サミットで採択された、持続可能な世界を実現するための 2030 年を期限とする国際目標であり、経済・社会・環境の調和のとれた持続的な発展をめざす、包括的な 17 の目標が設けられています。

当ファンドは、日本生命グループの欧州資産運用会社（Nippon Life Global Investors Europe Plc.）とニッセイアセットが連携し、SDGs の観点で評価が高い企業を厳選することによって、長期・安定的な収益機会を獲得するとともに、SDGs 達成に貢献するものです。

なお、当社は中期経営計画「全・進-next stage-」（2017-2020）において、4 年間で 2 兆円の成長・新規領域への投融資を目指しており、SDGs の達成に貢献する当ファンドへの投資もその一つと位置付けています。

今後も、社会公共性・投資収益性をふまえ、ご契約者利益の一層の拡大に努めるとともに、持続可能な社会の形成に寄与してまいります。

<当ファンドの概要>

名称	ニッセイ SDGs 欧州社債バイアンドメンテナンスファンド (Nissay SDGs European Credit B and M Fund)
運用者	ニッセイアセットマネジメント株式会社
投資助言者	Nippon Life Global Investors Europe Plc.
投資対象	欧州社債
SDGs 評価者	Nippon Life Global Investors Europe Plc. ニッセイアセットマネジメント株式会社
当初投資額	100 億円

<当社の取組と SDGs の関係>

当社では、お客様、地域・社会等の様々なステークホルダーとの対話を通じて、社会からの期待や社会的課題に対する認識を深めるとともに、あらゆる企業活動においてバリューチェーン全体を通じて“安心・安全で持続可能な社会”の実現に貢献し、企業価値の向上を目指しています。取組にあたっては、ステークホルダーからの期待と当社事業との関連性の両軸から選定した「サステナビリティ重要課題」に重点を置き、サステナビリティ経営を推進しています。

2018 年度の取組としては、持続可能な社会の実現に向けた体制を強化するために、経営会議の諮問機関として「サステナビリティ経営推進委員会」を立上げました。また、SDGs 達成に向けては、国連関連機関が発行した SDGs の企業行動指針「SDG Compass」に則って取組を進めており、「優先課題の決定」ステップとして、①事業戦略との整合性、②日本生命ならではの貢献ができるか、③サステナビリティ重要課題との関連性、④SDGs 達成への貢献度（インパクト）の 4 つの視点から 10 ゴールを選定しました。そのうえで、パリ協定の発効などの国内外の潮流や意識の変化を受けて、「すべての人々の人権を尊重する経営」と「気候変動問題への取組」の 2 項目を追加し、18 項目のサステナビリティ重要課題を特定しました。



以 上